ドレン配管方法

⚠ 注意

■ ドレントラップがドライヤへ外付けされます。GX3200シリーズおよびGX5208～GX5237は内径5.7～6.0mmのナイロンチューブをドレン排出器のコックへ直接差し込んでください。GX5255、GX5275は、内径6mm以上のチューブをドレン排出器のドレン排出口へ接続してください。

■ チューブの長さは5m以内で、立ち上がり配管はさけ、排出端は大気開放としてください。

■ ドレンに油が混入する場合は、排水処理が必要です。処理についてはお近くの産業廃棄物専門業者にご相談ください。

■ ドレン排出時に、ドレン排出チューブ等が振れることのないよう、しっかり固定してください。

■ ドレントラップ手前のボールバルブは、通常全開でご使用ください。ボールバルブはメンテナンス時に使用してください。

使用・メンテナンス時

フロン回収

⚠ 警告

■ 本製品は「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保に関する法律(フロン回収破壊法)」に該当します。廃棄あるいは修理時においては、必ずフロンガスの回収を実施してください。
フロンガスの回収については、当社各営業所へお問い合せください。

保守

⚠ 注意

■ ダストフィルタの清掃を掃除機やエアブローなどで毎月1回実施してください。
清掃を怠りますと、圧縮機ファンモータ等の故障の原因となります。

■ ドレントラップは1週間に1回定期的に取り外し、分解洗浄をしてください。各部が汚れると正常動作をしなくなり、2次側へドレンが流出します。

消耗部品

⚠ 注意

■ 長く安心してご使用いただくために、定期的に消耗状態を点検して、部品を交換してください。内容は、製品に添付されております取扱説明書を参照してください。

定期保守部品

⚠ 注意

■ 長く安心してご使用いただくために、定期的に定期保守部品の点検を実施し、標準交換時期に基づいて交換してください。
内容は、製品に添付されております取扱説明書を参照してください。

設置環境およびエア質について

⚠ 注意

■ 冷凍式エアドライヤでは、冷媒ガス配管、熱交換器内部配管に銅配管(りん脱酸銅管)を使用しており、この銅配管が腐食し穴があくと、冷媒ガスが漏洩し、運転不能に至ったり、エアドライヤの圧縮空気出口側に水が出る等の故障に至ります。また、電気配線等の導電材料としても銅が使用されており、腐食すると、漏電事故等の安全上の問題となる故障につながる恐れもあります。
特に熱交換器内の銅配管は、結露や乾燥が繰り返され、腐食性の成分が存在している場合、銅配管表面で濃縮されて、腐食が促進され易い状況下にありますので、エアドライヤの設置環境のみならず、エアコンプレッサの吸入空気にも十分な注意が必要です。腐食による故障は保証外となります。
工場排気中には、NOx(窒素酸化物)、SOx(硫黄酸化物)、CO_2(炭酸ガス)等の腐食を促進する可能性のある物質が含まれている場合があり、エアドライヤやエアコンプレッサが工場排気の影響を受けないように、設置場所の配慮が必要です。また、まれな事例として、塩素系有機溶剤(トリクロロエチレン等)、アルデヒドやアルコール(建材から発生するホルムアルデヒドや使用薬品のメタノール等)がエアドライヤ内に吸入され加水分解されると、銅管の腐食(蟻の巣状腐食)を引き起こす場合がありますので注意が必要です。